

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口です

介護の現場から

皆さんは地域包括支援センターってどんな仕事をしているか知っていますか？

担当されている市はつらつ高齢課保健師の横塚香代子さんにお話しを伺いました。

◆なんだか難しい名称ですが
「地域包括」とは、「地域全体」という意味で、介護保険法の見直しにより平成十八年から、住み慣れた地域全体で高齢者を介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支えるために創設されました。介護保険サービスだけでなく、地域のサロンの紹介や見守りサービスなど、必要な資源につなぐの必要な仕事のひとつです。

◆どんなスタッフがいて具体的にどんな仕事をしているのでしょうか？
ケアマネージャー・保健師・社会福祉士がそれぞれに専門分野を生かしながら、また互いに連携をとりながらチームとして活動しています。

①介護予防事業マネジ

メント
②総合相談支援（いろいろな相談や悩み事の支援）
③高齢者の権利を守る支援
④ケアマネージャーからの相談や、連絡会の開催・研修会の実施などです。

そのほか家族介護者の会の支援、認知症サポーターの養成などを行っています。

◆介護予防事業マネジメントって？
①の予防重視は介護保険法の見直しの大きなテーマのひとつでもあります。予防事業とは、次のようなことを行っています。

★要支援と認定された方の支援（要介護状態になることを防ぐため）

★生活機能評価、基本チェックリストで特定高齢者（要支援になる恐れのある人）になった方の支援（はつらつヘルシーセミナーの開催や訪問看護師の指導など）

★自立高齢者の支援（はつらつ健康教室、いきいき体操教室などを各地区の公民館に出向き開催）

◆最後にひと言お願いします。
現在は市役所はつらつ高齢課内にあります。が、二十三年度からは「矢板市社会福祉協議会」に委託いたします。高齢者に関する介護、福祉、健康、医療などさまざまな総合相談窓口なのでお気軽にご相談ください。
(K)

お知らせ

二十三年四月一日から、旧法務局の敷地と建物を利用して、矢板市きずな館が開館します。

ここに、社会福祉協議会・シルバー人材センター・施設管理公社が事務所を移転し、同じ場所で開催します。この社会福祉協議会に地域包括支援センター、あすてらすやいた、ファミリーサポートセンターも同居することになります。



矢板の元気印

会社を六十五才で退職した後、保有の資格を活かしてホテルの環境衛生管理会社を自営されている傍ら、矢板市文化協会の副会長として、さらには川柳の主宰者、水墨画のグループの会長も務め、元気に活躍されている武田正雄さん（七十八才）にお話を伺いました。

●矢板市文化協会副会長
矢板市文化協会は七十余の団体（延べ千数百人）が加入し、各団体はそれぞれが活動していますが、幅の広い、大きな組織なので現状維持の傾向に陥らないように活性化を心がけています。

協会は矢板市民の文化の一翼を担っているとの認識で会員が協調し、伝統文化の継承、レベル向上、発展につとめるよう、専門部を編成し、部単位での活動も盛んになるよう働きかけています。

●若葉川柳会の主宰者
若葉川柳会（会員十人）は矢板公民館で月一回勉強会を実施しています。この川柳会を主宰するようになったのは、公民館社勤務中や独立後も仕事の

”信念とともに若く”が座右の銘
武田 正雄さん（扇町）

の講師を務めました。その研修会が終了した後も、続けて欲しいとの要望があったので、引き受けました。なにしろ川柳は奥行きが深く楽しいものなので、自分だけではもったいない、できるだけ多くの人にチャレンジしてもらいたいと思っ続けています。

勉強会に来た人には、皆で意見を出し合い笑って帰ってもらうことをモットーにしています。（武田さんは他に矢板川柳会、下野川柳会の同人として栃木県の川柳界で活躍されています。）

●工学部出身の化学技術屋が川柳を始めたらキッカケは？
矢板公民館の講座を受講したのが始まりでした。もともと本



●元気のヒケツ
常に肯定的に物事をとらえるようにしています。例えば「ヒザが痛くなった」のは、肉体の老化現象ですが、老化ではなく進化している、というふうに見えることにしています。

（なお、川柳、水墨画の雅号は生まれ育った「山形県や新潟県」の雪にちなんで「六華」と付けたそう、矢板と共にふるさとを大切に思っていることです。）

●ニャと自慢の一句
飼いだに顔も似ているペアルック

内容が調査、分析が基本だったので調査することが習性になって、川柳を始める時も、川柳の成り立ちを徹底調査しました。これが作句の良い基礎作りになったようです。川柳は人間と人間の営みを詠むものなので興味は尽きません。

編集後記
梅の香りも漂ってきて、いよいよ3月19日は道の駅のプレオープン。春は、花と一緒に、いろいろなことに希望のふくらむ季節。道の駅を拠点に、多くの方が矢板の花や自然、食べ物を楽しんでもらえるように、たくさんの市民力の発揮が期待されます。